



【一般公開授業】
多文化共生社会論

名古屋学院大学国際文化学部では、2016年12月12日(月)10時55分～12時25分、本学名古屋キャンパス白鳥学舎曙館402教室にて一般公開授業(『多文化共生社会論』/担当教員:佐竹 眞明 国際文化学部教授)を開催します。講師に特定非営利法人「多文化共生リソースセンター東海」代表理事の土井 佳彦氏を招き、事前予約不要、聴講無料で授業を行いますので是非ご参加ください。

【講義概要】

1980年代後半から日本で生活する外国人(日本国籍を持たない人々)が増えてきた。近年、不況や東日本大震災の影響があって若干数は減ったが、日本には200万を超える外国籍者が生活している。外国籍者の増加に伴い日本社会は多文化社会となってきた。そうした状況において、異なった文化的背景を持った人々の文化を尊重し、権利を保障し、共に生きるという「多文化共生」という理念・施策が重要になってきた。本講義においては、そうした多文化社会の現状、成立の歴史・背景を考える。



【講師紹介】

土井 佳彦(どい よしひこ)

1979年、広島生まれ。大学で日本語教育を学び、卒業後、留学生や技術研修生らを対象とした日本語教育に従事。同時に、地域日本語教室にもボランティアとして参加。2008年、多文化共生リソースセンター東海の立ち上げに参画し、翌年の法人格取得とともに代表理事に就任。

【一般公開授業】多文化共生社会論

【日時】2016年12月12日(月)10:55～12:25

【場所】名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎
曙館402教室(〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号)

【講師】土井 佳彦氏(特定非営利法人多文化共生リソースセンター東海代表理事)

【主催】名古屋学院大学国際文化学部

